



2009年1月22日

ニューヨーク市長 マイケル・R・ブルームバーグ氏が市政方針演説において BMW GROUP が電気自動車 MINI E(ミニ・イー)をニューヨーク市に貸与することを発表

ニュース発: ニューヨーク市長 マイケル・R・ブルームバーグは 2009 年 1 月 15 日の市政の方針演説において、BMW Group がニューヨーク市に電気自動車、MINI E(ミニ・イー)を貸与することを発表しました。

MINI E はニューヨーク市によって設定された SCOUT(Street Condition Observation Unit)という組織の活動のなかで使用され、同時に電気自動車の日常生活での使用の可能性について実証実験を行ないます。SCOUT はニューヨーク市の路上の状況を監査する組織で、落書きやでこぼこの道路など市民の生活に影響を及ぼす状況を報告し、市の関係者に状況改善を促します。MINI E は SCOUT の調査員たちによって、問題発見のためにニューヨーク市内の路上の至る所を走行します。MINI E は 4 月の上旬からこの活動を開始する予定です。

MINI E は、BMW Group が掲げる Project i の最初の成果物です。「Project i(プロジェクト・アイ)」は大都市部でのモビリティに向けた画期的コンセプトの開発を目指しており、電動式パワートレインの活用は、現在 BMW Group が積極的に推進しているプロジェクトです。

“持続可能な交通手段を発展させるため、ニューヨーク市と共同で作業できることを光栄に思います。”MINI USA の副社長 ジム・マクドウェルは述べています。“ブルームバーグ市長が掲げる “PlaNYC*” は持続可能な社会の重要性に対する熱心な理解をはっきりと示しています。我々は市長の新しい概念や技術、交通手段をさらに発展させて、実現させていこうとするビジョンと情熱に共感します。我々にとっては、ゼロ・エミッション車両である MINI E は、BMW Group によっては最初の一歩に過ぎません。”

*PlaNYC: 2030 年までにニューヨーク市の温室効果ガスの発生を 30% 削減しようとする計画

MINI E は、一回の充電で 150 マイル以上も走行することができ、MINI Cooper 同様の俊敏さやきびきびとしたハンドリング性能を兼ね備えています。201 馬力のパワーに相当する 150kW の電気モーターを搭載しており、高性能な充電式リチウムイオン・バッテリーから電力をチャージします。ロサンゼルス・モーターショーで初披露されたこの MINI E は 0-100km の加速は 8.5 秒で、最高速度は電子制御で 152km/h に制限されています。MINI E のユーザーのガレージには MINI によって特別なウォールボックス(壁面取付用配線ボックス)が設置され、充電開始から約 2 時間半で充電を完了することができます。

BMW グループによって生産された 500 台の MINI E は、アメリカ国内においてはニューヨークだけではなく、ニュージャージー、ロサンゼルスなどの都市部において展開されます。このほか、ベルリン、ロンドンでもテスト目的でも展開される予定です。500 台のなかの 450 台は一般のお客様から MINIUSA.com のサイトで応募を受け付け、リース貸与します。残りの 50 台については、ニューヨーク市の SCOUT の例のよう

に、広範囲かつ集中的に特定の目的のために使用されます。MINI E のユーザーは BMW Group と共に、このプロジェクトの科学的な評価をサポートする役割を果たします。MINI E のエンジニアは、ドライバーと定期的に情報交換することをとても重視しています。こうした情報をもとに、ドライバーの行動やクルマ自体の特性を分析することで、限られた用途の中で純粋な電気駆動車両に求められる最も正確で現実的な要求を把握することにつながります。

BMW Group はニューヨーク市とは異なった状況でテストを行なうためにロサンゼルス市へも MINI E を展開しています。